



歯科医・彌勒寺寛之の

後悔しない

歯科治療の受け方

## 第8回

### 「歯周病と体の病気の関係」

こんにちは。土沢デンタルクリニック院長の彌勒寺です。歯周病と関連のある全身疾患のうち、今回は①骨粗鬆症、②糖尿病についてお伝えしました。今回は③心臓病、④肺炎、についてお伝えします。(⑤早産については次回お伝えします)

#### ③心臓病

歯周病の患者さんはそうでない人に比べて心臓病のリスクが約2倍になるといわれています。歯周病と関わりのある心臓病は大きくわけて2つあります。

1つは狭心症や心筋梗塞のような心臓自体の血管に生じる疾患で、その主な原因は心臓の動脈の壁が厚くなって、弾性が低下することです。歯周病との関連は、歯周病菌の毒素などが血液の中に入ること、炎症性の物質が多く作られるため、動脈の硬化が進行します。また、歯周病菌が血栓の形成を促進することで、心臓血管疾患を引き起こす可能性もあります。肥厚した血管壁から歯周病菌が発見されたこともあります。最近の研究では、歯周病治療が動脈硬化を防ぐともいわれています。

2つめは感染性心内膜炎というもので、心臓の弁や膜に細菌などがつくことで、多くの合併症を引き起こされるものです。リスクが高い患者さんの中には歯科治療の前にお口の中の菌

を減らして清潔にするために、清掃を行なうこと、定期健診を受けることなどが推奨されます。

#### ④肺炎

肺炎の中でも歯周病と関係が深いのは誤嚥性(ごえんせい)肺炎とよばれるもので、これは歯周病菌などの細菌が混入した食べ物や唾液が誤って気道に入ることによって起こり、特に高齢者に多く見られます。

誤嚥性肺炎はお口の中を清潔にする口腔ケアによって口から安全に食べることの下地作りを行なうことで、予防できます。

今回の執筆にあたり、学生時代に心臓から歯周病菌が見つかることがあると聞いた時にはとても驚き、また私の祖母も狭心症になったことがあり、ニトロ(狭心症の薬)をいつも持ち歩いているので、「口腔ケアをしっかりとしないと!」と思ったことがよみがえりました。

お口の健康と全身の健康にはつながりがあります。お口の病気だからと放置せずに、健康維持のために定期健診に通われる方が増えるといいなと思います。

次回は「男性も必見! 歯周病と早産の関わり」です。

次回 男性も必見! 歯周病と早産の関わり



～著者プロフィール～

土沢デンタルクリニック院長 彌勒寺 寛之 (みろくじ ひろゆき) 1979年東京生まれ

住 所 宇都宮市本丸町11-12 T E L 028-634-5141 (URL) <http://tda86.com>

所属学会

日本口腔インプラント学会 日本歯科審美学会 日本歯周病学会

日本小児歯科学会 日本ヘルスケア歯科研究会

※学会で得た知識を活かして、個人的に無料相談室を開設しました。

お口のことで疑問に思っていることなどがありましたら、お気軽にご相談下さい。

当クリニックのホームページからメールで受け付けています。

(この無料相談室は予告なく終了することがありますので、ご了承下さい。)

